

# 中央公民館跡地利用について

## 利用団体・市民委員会を設置して検討を

井之川博幸議員は、中央公民館除却後の跡地利用について、多くの市民の声が反映されるよう取り組むための「利用団体や市民も含めた（仮称）中央公民館跡地利用検討委員会などの設置について」質問しました。

市長は、「沼田市ファシリティマネジメント施策に関する民間提案制度により、提案内容なども含めて総合的に検討してまいりたい」と旧市役所跡地と同じやり方で進めるという答弁をしました。

## 文化協会などが要望している施設の検討について

つづいて井之川議員は、中央公民館が廃止になり、沼田市民の文化・芸術振興への活動力の低下に大きな懸念が生まれているので「市議会が採択された文化協会などが要望している施設を検討」していく必要があるのではないか、と質問しました。

市長は、「除却を行う中央公民館につきましては、その機能を既存施設に分散することで沼田市公共施設等総合管理計画を実行します。沼田市においては、利根支所はじめ、早急に対応しなければならない施設が数多くありますので、令和3年3月議会で採択された請願の内容について配慮しながら、今後除却が必要となる各種施設の利用状況やその解体費用など、今後の財政推計などを含めて総合的に勘案し、検討を重ねてまいりたいと思います。」と答弁しました。



沼田市民の文化・芸術の殿堂として活動を支えてきた中央公民館

# 横塚工場適地の産業団地指定を

横塚工場適地は、約 37ha の広さですが、現在は関東運輸(株)や(株)セノテックなど 6 社が進出しています。面積的には半分程度残っていますが、現在約 14ha を分譲中です。また、残りの土地については、産業団地として県の指定を受けるべく、遺跡などの試掘調査を行っています。

沼田市では、これらの土地に企業誘致を進めるために、企業誘致推進条例など、いくつかの優遇制度があります。

## 日本型直接支払事業

農山村における農業や林業及び農地や集落を守り、農業者などの所得を支援していく制度を行っています。

一つは、中山間地等を守っている農業者などを支援する「中山間地域等直接支払制度」です。支援単価は 10a 当たり、緩傾斜の採草放牧地 300 円から急傾斜の田 21,000 円まで、地目と傾斜によって単価が決められています。

もう一つは、農地は、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全など多面的機能を有していますが、その機能を守るために農村地域で農業者や地域住民なども含め組織をつくり、農地や水路などの保全活動や保全管理構想の策定などに支援します。

単価は、10a 当たり、田が 3,000 円、畑が 2,000 円です。

沼田市における今年度の予算では、中山間地域等直接支払交付金が、3,774 万 3 千円、多面的機能支払交付金が 6,724 万 2 千円です。



佐山地区の田畑と里山

2021年6月27日 No.1022

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町 983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料